

公開プロセスに向けた取組状況（警察庁）

1 公開プロセスの日程・場所

日時：平成 24 年 6 月 15 日（金）午後 2 時から午後 5 時まで
場所：中央合同庁舎第 2 号館地下 1 階 第 7・8 会議室

2 公開プロセス対象事業の名称、平成 23 年度予算額（補正後）及び事業内容

対象事業名	平成 23 年度 予算額(補正後)	事業内容
ムーブメント信号 制御方式による信 号制御高度化モデ ル事業	1 億 300 万円	新たな信号制御方式（流入路単位で青時間をコント ールすることにより、交通需要の少ない方向の青時間 を削減して渋滞の解消を図るもの）の全国展開に先立 ち、同方式をモデル事業として整備し、その効果を検 証する。
インターネ ット・ホット ライン業務	1 億 3,900 万円	インターネット・ホットラインセンターにおいて、イ ンターネット上の違法情報・有害情報に関する一般国 民からの通報を受理し、警察庁に違法情報の捜査の端 緒を提供するとともに、電子掲示板の管理者、インタ ーネットサービスプロバイダ事業者等に削除を依頼 する。
DNA 型鑑 定の実施	20 億 5,200 万円	事件現場等から資料を採取し、DNA 型鑑定を実施す ることにより、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な 客観証拠を得る。

3 公開プロセスにおいてどのような目的・目標を持って、どのような視点で検証を行う 考えか

- ムーブメント信号制御方式による信号制御高度化モデル事業
 - ・ 新たな信号制御方式の全国展開について見通しを立てるため、当該方式導入場所
の選定条件等について検証する。
- インターネット・ホットライン業務
 - ・ 当該事業の意義を確認するため、費用対効果の分析を行うとともに、事業費の圧
縮が可能か、一般競争入札における競争性が確保されているか等についても検証
する。
- DNA 型鑑定の実施

- ・ DNA 型鑑定的重要性を国民に示すため、その活用、成果について確認するとともに、コスト削減に向けた取組について検証する。

4 公開プロセスを含め行政事業レビューの取組をどのように国民に周知・広報していく 考えか

- 公開プロセスの実施についてホームページ上で周知・広報するとともに、チーム会合の議事概要等をホームページ上にて適切なタイミングで公表することにより、行政事業レビューの透明性を確保する。